

「修了式」

校長 野田 隆之

176名の3年生が卒業証書を手し、この北都中学校を巣立っていきました。卒業式では中学校生活の最終日にふさわしい姿を、3年生が見せてくれました。座っている姿勢、返事、合唱、どれも「ここまでできるのか」と思うほど見事で、超一流の中学生の姿でした。

そして、在校生の皆さんの姿も素晴らしかった。皆さんの態度や合唱があったからこそ、あの感動的な卒業式になりました。在校生の送辞も、卒業生の答辞も素晴らしかった。小学校の校長先生、地域の方、たくさんの方からお褒めの言葉をいただきました。ある方は、「まるでドラマを見ているようだった、とても感動した」とおっしゃっていました。校長として、本当に誇らしく、そしてうれしく思いました。ありがとうございました。

皆さんは、あの3年生の姿を見て、どう感じましたか。「自分もあなりたい」と思った人もいないのでしょうか。あの姿は、1年後、2年後の皆さん自身の姿です。ぜひ、目標として見えているその気持ちを忘れないでください。

さて、この1年を振り返ってみてください。皆さんは学習、旅行的行事や文化祭などの各種行事やその他の生徒会活動、さらに部活動も、それぞれの場面で、しっかり取り組んできました。一つ一つは小さなことかもしれませんが、その全員の、1年間の積み重ねが、今の北都中学校をつくっています。仲間と声を掛け合いながら、一緒に頑張る。うまくいかないときは、支え合う。そういう「あたたかいつながり」が、この学校のよさです。そのような場面を沢山見ることができました。それが「北都ブランド」なのだと思います。

一方で、「もっとこうできたな」と思うこともあるかもしれませんね。勉強のことかもしれません。人との関わり方かもしれません。行事への関わり方かもしれません。でも、それでいいのです。大事なものは、「できなかったこと」ではなく、「そこに気付いていること」です。気付いた人は、次に進めます。そしてもう一つ、大事にしてほしいことがあります。それは、「自分のよさ」です。皆さん一人一人の良かったこと、頑張ったことについては、今日手渡される通知表に、担任の先生方が丁寧に示しています。校長として全員の通知表に目を通しましたが、担任の先生方は本当によく見ているなと感心しています。皆さんは、自分で思っている以上に、しっかり成長しています。是非、家の人とも一緒に振り返ってみてください。

4月には、168名ほどの新入生が入学してくるようになっていきます。1年生は、まず何を見るのか。それは、皆さんの姿です。「この先輩、カッコいいな」そう思ってもらえるかどうかは、皆さん次第です。特別なことをする必要はありません。あいさつをする、時間を守る、人を大切にすること——そういう当たり前のことを大切にできる人が、一番カッコいい先輩です。

明日から春休みとなりますが、事故やトラブルなどには十分気を付けてください。そして、春休みは短いとは言え、ゆっくりと休む時間も取って、進級後のスタートダッシュをいい形で進められるように準備をしていてください。新年度の始業式の日には、元気な皆さんに会えることを楽しみにしています。